



世界冬の都市市長会 広報誌

日本語特別号
2008年4月発行

World Winter Cities Association for Mayors

〈世界冬の都市市長会事務局〉

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市総務局国際部内 TEL 011-211-2032 FAX 011-218-5168
e-mail: wwcam@city.sapporo.jp URL: http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/

グリーンランドから世界に熱いメッセージ～温暖化問題への新たな挑戦 ～第13回世界冬の都市市長会議でヌーク宣言を採択～

第13回世界冬の都市市長会が2008年1月18日から20日までの日程で、グリーンランドの首都ヌーク市で開催されました。

「北極圏における気候変動」をメインテーマとした今回の会議では、8カ国22都市の市長、代表者が参加し、地球温暖化について活発な議論を繰り広げ、3日間に渡りグリーンランド全体が熱気に包まれました。

会議最終日には、全会一致で「ヌーク宣言」を採択し、成功裏のうちに会議の幕が降りました。



開会式で挨拶をするニコライ・ヘインリッチ・ヌーク市長

狩猟を営む者にとっては既に生活水準の維持が困難なほど影響を受けております。ヌークは美しいゴッドホープフィヨルドや冠雪した山々、水辺だけではなく、ヌークの人々との出会いだけでもとても価値がある場所です。グリーンランドは温かいホスピタリティー精神でよく知られています。地元の人々は冬の都市の皆様会うことをとても楽しみにしていました。

今回の会議はこの上ないほど感動的な経験だったと信じています。会員の皆様がヌーク宣言の採択により

ヌーク市長から ～会議を振り返って～

市長会議が成功裏に終わり、およそ1ヶ月半が過ぎました。この会議は私にとって、そしてヌーク市にとって初めての経験でした。また、私たちが皆、とても長い間開催を待ちわびた会議でもありました。

会議テーマ「北極圏における気候変動」は、時代を反映したものでした。ここグリーンランドでは、気候変動の影響が深刻です。氷河融解を目の当たりにし、漁業や

負うこととなった責務を果たされることを切に願っております。私たち首長は環境をもっと大事にしていくために引き続き協力し、全力を捧げていくべきだと思います。私はヌーク宣言の趣旨に沿って、問題に取り組んでいけることを心より嬉しく思っております。

2008年3月

ヌーク市長 ニコライ・ヘインリッチ

グリーンランド・ヌーク市ってどんなところ?



グリーンランドは、およそ8割は雪と氷に覆われ、最も氷が厚いところでは3kmにもおよび、フィヨルドでも有名です。人口は約60,000人です。

ヌーク市はグリーンランド南西部の海岸に面し、およそ250年の歴史を持つ首都です。



人口：約15,400人（2008年1月1日現在） 平均気温：8℃（7月）、-8℃（1月）

会議参加都市

◆会員都市：11都市

長春、ハルビン、ジャムス、鷄西、瀋陽（以上中国）、ヌーク（グリーンランド）、札幌（日本）、太白（韓国）、カウナス（リトアニア）、トロムソ（ノルウェー）、アンカレッジ（アメリカ）



会議に参加した会員都市市長

◆非会員都市：11都市

オールボー（デンマーク）、アシアート、イトコルトルミット、イヒドゥート、ナノルタリク、パーミュート、カコトック、シシミュート、ウベルナビク、ウマナック（以上グリーンランド）、ハンメルフェスト（ノルウェー）



会員都市以外からも多数の自治体首長が参加した

市長会議

「北極圏における気候変動」をテーマに、温暖化対策について意見交換しました。地球温暖化は国際社会での緊急の問題であることから、各都市とも大変高い意識の下で取組を進めており、ユニークな活動や先進的な事業の報告が相次ぎました。



会議の様子

ある映像が参加者の関心を引いていました。映画製作を通じて、若者に温暖化問題への認識を高めてもらう目的が伺えました。

アンカレッジ市（アメリカ）からは、「環境活動のためのアラスカ青少年グループ（Alaska Youth for Environmental Action）」の活動が報告されました。学校での啓発活動や省



スザンヌ・フリーク・グリーン氏
（アンカレッジ市）

エネ運動に取り組むなど、若者が率先して行動することの大切さが強調されました。

札幌市（日本）からは、子どもたちに対して環境問題の大切さを教

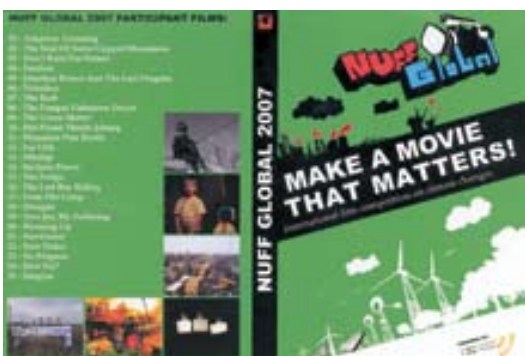
える事業として、学校給食における「**フードリサイクル**」の取組が報告されました。

最後に議長を務めたヌーク市長から、「地球の未来は青少年のものであり、青少年の未来を確保するのが我々の責務である」という力強いまとめがありました。

青少年とともに取り組む地球温暖化対策

温暖化対策には住民一人ひとりの協力が欠かせません。特に次代を担う青少年の協力を得ることは、地球の未来を考える上で大切なことであり、青少年とともに取り組む温暖化対策について報告がありました。

トロムソ市（ノルウェー）からは、青少年をターゲットにした国際短編映画祭「ノルディックユース映画祭（Nordic Youth Film Festival）」が紹介されました。



映画祭を紹介するDVDが上映された（写真はジャケット表紙）

映画祭の2007年の作品テーマは「地球温暖化」であり、ユーモアの

要素が盛り込まれていました。

フードリサイクルとは？

札幌市が2006年から始めた取組で、学校給食の残飯を堆肥化して肥料として農家へ供給し、この肥料から生育した食物を学校給食の材料として利用する循環のことです。これは子供たちに対する環境教育としても非常に効果的なものとなっています。



た食物を学校給食の材料として利用する循環のことです。これは子供たちに対する環境教育としても非常に効果的なものとなっています。



世界冬の都市市長会とは

「世界冬の都市市長会」は、「冬は資源であり、財産である」というスローガンのもと、世界の冬の都市が集まり、冬の技術や経験を学びあうためのネットワークです。以前は、北方都市市長会議と呼ばれ、1981年に札幌市が提唱し、翌年に第1回の市長会議を開催したのが始まりです。2004年に名称を「世界冬の都市市長会」に変更しました。

これまでの会議では、都市計画、冬の都市交通、除排雪、リサイクル、冬の観光資源開発などについて市長同士がそれぞれの都市の知恵と経験を共有し、まちづくりのアイデアや厳しい気象条件を克服する手立てを学んできました。近年の会議では特に、地球温暖化問題などの環境問題に力を入れて取り組んでいます。



ニューヨーク会議に臨む上田会長（札幌市長、写真右）とニューヨーク市長（同中央）

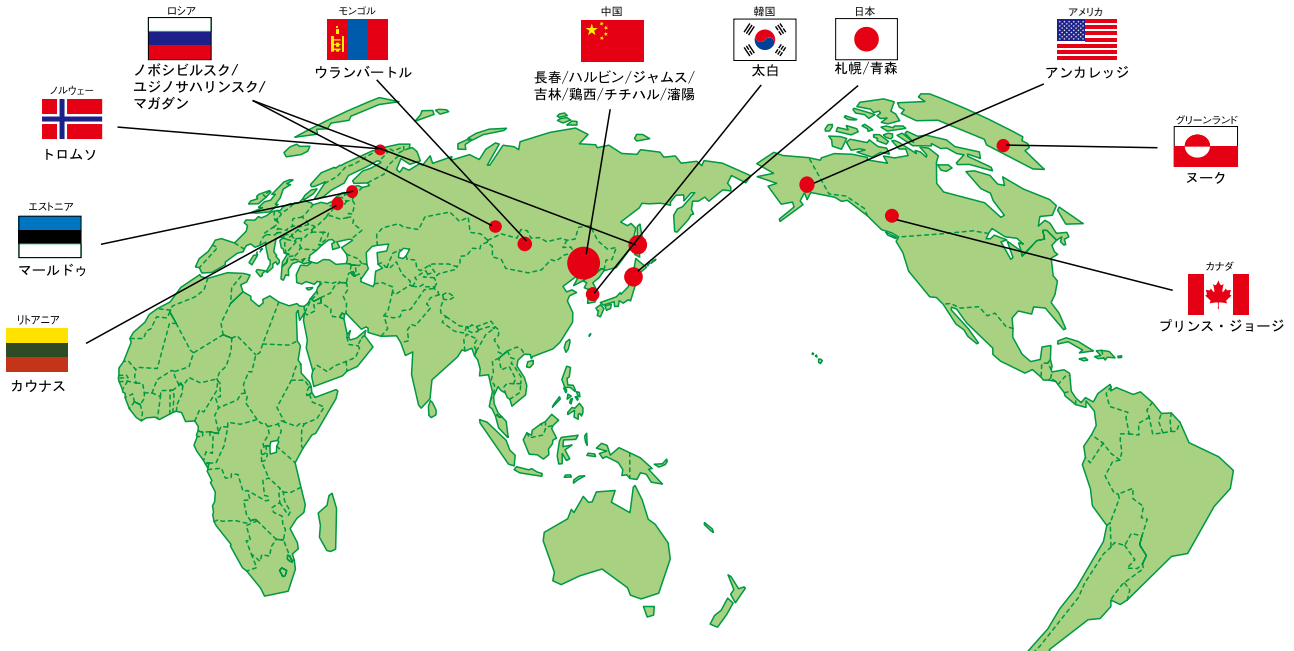
冬の都市とは

積雪または寒冷という気象条件のもとでまちづくりを行う都市。

積雪の基準・・・1年間のうちで積雪量の最大値が概ね20cm（8インチ）以上となること。

寒冷の基準・・・1年間のうちでもっとも寒い月の平均気温が概ね摂氏0度（華氏32度）以下となること。

会員都市 11カ国20都市（2008年4月現在）



● 主な活動内容 ●

市 長会議

世界冬の都市市長会の主要事業であり、2年に1度開催されます。

これまで13回の会議が開催されており、地球環境問題、都市計画、冬の都市交通、除排雪などについて、市長同士が先駆都市の知恵と経験を共有し、「まちづくり」へのヒントや厳しい気象条件を克服する手立てを学ぶことができました。

市長会議は、市長自らが各都市の取組み事例を紹介し、市長同士が膝を交えて率直な意見交換を行う格好の機会となっています。



小 委員会

冬の都市の状況や先進事例を調査・研究する機関です。

これまでに、「リサイクル小委員会」、「観光促進小委員会」、「雪対策小委員会」、「自然災害対策小委員会」、「持続可能な冬の都市づくり小委員会」、「テロ対策小委員会」等が設置され、それぞれのテーマに基づいて調査・研究成果をまとめています。

現在は「冬の都市環境問題小委員会（事務局：札幌市）」が活動しており、「地球規模の環境問題」を切り口に、環境教育や自動車問題といった身近な問題から、大気汚染や水質汚濁などの公害対策技術、省エネルギー技術の先進事例の収集まで幅広い活動を行っています。また、最新の活動状況を世界冬の都市市長会のウェブページにて発信しております。



冬 の見本市、冬の都市フォーラム

冬の見本市・冬の都市フォーラムは、市長会議と併せて行われる、併催事業です。

「冬の見本市」は、開催市および会員都市の企業や団体が中心となって、冬や雪に関連する機材や製品の展示をはじめ、様々な技術の紹介を行うものです。

「冬の都市フォーラム」は様々な分野の専門家や学術研究者、あるいは市民が、日頃の研究成果について発表を行う学術交流の場です。1988年の第3回会議から併催されるようになり、世界冬の都市市長会議は、大きなイベントに発展しました。



実 務者会議

会員都市の行政実務者が集まり、次期市長会議の開催計画やテーマ、市長会の運営などについて協議する会議です。毎年行われています。

会員になるには

入会手続き： 会員になるには、入会しようとする都市の市長が会長に入会を申請し、役員会で入会が決定されます。

会 費： 会員都市は、都市人口と国民1人あたりの国内総生産額（GDP）を基準として算出される年会費を払わなければなりません。ただし、入会初年度の会費納入金額は、年会費の半額となります。

会員になると： 会員になると、市長会議などの活動に積極的に参加し、冬のまちづくりに生かしていただくことが期待されます。さらに、冬の都市のネットワークを国際交流に生かすことができます。

申 込 み 先： 世界冬の都市市長会事務局
011-211-2032

最新の会議内容やこれまでの成果についての詳しい情報を、世界冬の都市市長会のホームページに掲載していますので、是非ご覧下さい。

(<http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/>)

世界冬の都市市長会は会員都市を募集しています。加入の詳しい要件などについては、世界冬の都市市長会事務局までお問い合わせください。

冬の都市とエネルギー問題

積雪寒冷という気候の特徴をもつ冬の都市では、暖房や除雪など冬の間に消費されるエネルギー量は大変大きく、自ら温暖化を進めているという自己矛盾を抱えていると言えます。そこで、省エネルギーの推進や新エネルギーの活用などエネルギー問題に取り組む都市からの報告がありました。

札幌市(日本)からは、貯蔵した雪を冷熱エネルギーとして



マーク・ベギチ・アンカレッジ市長による事例発表

活用し、都心部商業ビルに対する熱供給事業に利用している事例の報告がありました。豪雪による除雪問題に悩まされる札幌市民にとって雪は「邪魔者」と思われていましたが、発想の転換により、雪をエネルギーとして市民生活に役立てている事例に他都市から質問や関心が多く寄せられました。

アンカレッジ市(アメリカ)からは、省エネルギーを目的に、街路灯をエネルギー効率の高い「LED」に替えている事例が紹介されました。LEDを街路灯に使用することに伴い、ある程度の初期投資は必要なものの、省エネ効果によるランニングコストの軽減により、全体として大きな負担にはならないことが強調されていました。

LEDについて教えて！

Light Emitting Diode の頭文字をとったもので、「発光ダイオード」ともいいます。近年開発された技術で、従来の蛍光灯などと比較して電力の消費量も少なく、放熱量も抑えられることから、CO₂の削減に大きく貢献するものとしてますます期待されています。

ヌーク宣言の採択

市長会議の最終日に採択されたヌーク宣言では、温暖化の影響が目に見えやすいのは我々冬の都市であり、地域住民に最も身近な行政機構の立場として、取組みの必要性を世界に発信し訴えていくことを力強く宣言しました。ヌーク宣言をきっかけに、冬の都市の輪が大きく広がることが期待されます。



ヌーク宣言に署名をするヌーク市長(写真中央)と札幌市長(写真右)



ヌーク宣言採択後に挨拶をするヌーク市長

【ヌーク宣言(抜粋)】

地球規模の気候変動問題は人類にとって最も深刻な脅威の一つであることは論を待たない。気候変動の急速な増加が人類の産業及び工業活動に起因していることについては、世界中の科学者たちによって既に指摘されている。2007年11月に発表されたIPCC「気候変動に関する政府間パネル」の報告書では、世界の温室効果ガス排出量は今後二、三十年増加し続け、その結果、21世紀には20世紀に観測されたものより大規模な温暖化をもたらされると予想されている。

地域住民にとって温暖化の影響が目に見えやすいのは、我々冬を抱える都市であり、そして、最も深刻な影響が発生しているのがグリーンランドおよび北極圏である。冬の気温の上昇は人々のライフスタイルを変化させ、日常生活や伝統文化に対する影響を見逃すことはできない。我々世界冬の都市市長会の参加都市はこれら温暖化の深刻さを、地域住民に最も身近な行政機構の立場として、その声を世界に発信し訴えていく責務を有していることを参加都市の総意としてここに確認する。

寒冷・多雪という気候特性を有する冬の都市では、特に冬

の暖房や除排雪、融雪などに消費されるエネルギー量は多大であり、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を増加し、自ら温暖化を進め

ている自己矛盾を抱えている。つまり、冬の都市こそが国際社会の先頭に立って温暖化問題に取り組むべき立場であることを参加都市が改めてここに確認し、各都市が最大限の英知を結集して取組を行うことを、世界冬の都市市長会として、ここグリーンランド・ヌークで宣言する。

※ヌーク宣言の全文は、ホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/>に掲載しています。



「冬の都市環境問題小委員会」中間報告

2006年に設立された「冬の都市環境問題小委員会」が、これまでの活動の中間報告を市長会議の中で行いました。

これまでの調査結果として、①環境問題は会員都市にとって共通の重要課題であること、②異常気象への認識が高いことや、市民啓発活動を行っている都市が多いことから、地球温暖化に対する問題意識は自治体間で確実に広がっていること、③温暖化対策の計画を策定するなど、会員都市の取組は着実に進んでいること、などの報告がありました。



冬の都市環境問題小委員会からの中間報告

冬の都市フォーラム・冬の見本市

〈冬の都市フォーラム〉

冬の都市フォーラムは、各界の専門家が集まり、各々の研究分野についての発表を行う場です。今回は、グリーンランド及びデンマーク、ノルウェー、アメリカ、日本から13人の専門家が集まり、グリーンランドや北極圏などの気候変動に関連したテーマについて講演が行われました。



〈冬の見本市〉

冬の見本市は、会員都市の企業や団体を中心に、冬や雪にまつわる技術や製品などの展示を行うものです。今回は、グリーンランドの企業を中心に40ブースの出展があり、気候変動をテーマとした展示のほか、観光情報や伝統文化の紹介なども行われ、訪れた参加者の目を楽しませていました。



第14回 世界冬の都市市長会議の開催市紹介

～プリンス・ジョージ市(カナダ)～



ストリート・フェスティバルの賑わい

カナダ・ブリティッシュコロンビア州北部の主要都市として知られるプリンス・ジョージは、人口77,000人の賑やかな都市です。

自然の豊かさ
と都市の快適性

を同時に味わえる経験を是非してみてください。プリンス・ジョージにはたくさんの魅力があり、ゴルフなどのアウトドアのほか、カジノなども楽しめます。郊外に車で5分走らせると、息を飲むような大自然に出会えます。

プリンス・ジョージへお越しになるのは簡単です。州北部の中心地として、プリンス・ジョージは交通の便も良く、プリンス・ジョージ国際空港と様々な主要都市の間で



冬期には市民会館前がスケートリンクとして開放されます

航空便が利用できます。

今年の夏に実務者会議が、そして2010年には第14回世界冬の都市市長会議が開催されます。皆様是非プリンス・ジョージへお越しください。心よりお待ちしております。